

報告通報) 元 32A 50ab

獨立混成第四旅團命令
獨立混成第四旅團命令第六二號

略

獨立混成第四旅團命令

一、一九二二、
名 護

- 一、旅團ハ伊江島ニ増強セル兵力ヲ旧態勢ニ復歸セシメ獨混
- 四旅作命第四十號第一項ノ任務ヲ續行セントス
- 二、獨立混成第十五聯隊長ハ旧伊江島地區隊ヲ残置シ獨混
- 四旅作命第五十五號ニヨリ伊江島ニ派遣セル兵力ヲ率ヒ旧
- 態勢ニ復歸シ獨立混成第四旅團守備計畫ニ依ル任
- 務ニ就クヘシ
- 船舶輸送ニ関シテハ曉部隊ト協定スヘシ
- 渡久地港揚陸後輸送、為首動貨車二輛(操縱手兵
- ヲシテ協力セシム
- 三、本部地區隊長及旧伊江島地區隊長ハ獨立混成第十五聯隊
- 主力、復歸ニ伴ヒ旧任務ニ復スヘシ

獨立混成第四旅團命令第六二號

四、本部地區隊長及旧伊江島地區隊長ハ所要ノ重火器ヲ
揚陸(搭載)地附近ニ配置シ揚陸(搭載)掩護ニ任スヘ
シ

旅團長

鈴木少將

下達法 電話後印刷交付

配布先 隷指揮下一般

報告(通報) 元 三二單 曉沖繩支部 渡久地曉部隊

獨立混成第四旅團命令

一、一九二二、
名 護

- 一、旅團ハ獨立混成第十五聯隊主力、本部半島復歸ニ伴
- ヒ守備計畫ニ一部ノ変更ヲ加ヘントス
- 二、南北両戦間地境附近ニ於ケル兩地區隊、責任ヲ左ノ如
- ク定ム
- 一、満名東端橋梁(含ム)以西ハ北地區隊ノ担任トス
- 二、同地(含ム)以東ハ南地區隊ノ担任トス

兩地區隊ハ特ニ優勢ナル機甲部隊ノ分断企圖要
碎ニ遺域ナカシハルト共ニ南北西地區ノ交通ヲ確保ス
ハシ

旅團長 鈴木少將

下達法 電話後印刷交付

配布先 隷指揮下級

報告先 第三十二軍

別紙

下達命令
獨立在命第六號

獨立在命第六號

伊江島地區隊命令

五九二五〇

一 聯隊ハ旅團ノ命令ニ基キ伊江島地區隊ノ任
務ヲ舊伊江島地區隊ノ既成部隊ハ元ノ如シ
ニ移讓シ舊態勢ニ復歸セントス

二 伊江島地區隊長ハ前任任務ヲ續行スベシ

三 第五〇飛行場大隊ハ十月十九日一ニ〇〇以
降ヲ予指揮ヲ脫シ前任任務ヲ續行スベシ

四 本部及第一大隊獨立各中隊ハ兵器彈藥
糧秣資材ト共ニ二十日以後降伊江島ヲ發シ人
員及材料搭載掛ノ指示ニヨリ舊露塔塔地

附近復歸シ前任務ヲ續行スベシ
彈藥兵器資材ハ棧橋埠頭等ニ積ス
トナク遂次陣地又ハ露路營地附近ニ分散
集積スベシ

五石井少尉ハ人員及馬込塔搭載掛トナリ曉
部隊ト協定シ伊江島棧橋ニ於ケル人員
馬込塔搭載ニ任ズベシ

六牧原少尉ハ荷物塔搭載掛トナリ曉部隊ト
協定シ遂次到着スル荷物輸送ニ任ズベシ
七武藤少尉ハ渡久地埠頭ニ於ケル材料揚
陸掛トナリ各隊ノ揚陸人員ヲ指揮シ材料
資材ヲ遂次露路營地附近ニ輸送セシムベシ

八各隊ハ露路營地復歸ノ爲所要ノ人員
ヲ本一九日一四〇〇伊江島棧橋ニ差出シ
聯隊副官ノ指揮ニ依リ舊露路營地ニ
失行セシムベシ

六千八百二十一日伊江島ヲ發シ先ヅ渡久地
國民學校ニ到ル

伊江島地込隊長
美田大佐

下達法 電話及命令受領者ヲ集メテ口
達筆記セシム後印刷交付

配布先 隸指揮下 般
 報告通報先 國頭本部各地區隊

昭和九年十月十日

伊江島 晴

下達命令
 獨立司令部第八號

- 一。八。ヨリ曉部隊舟艇ニ依リ部隊主力、上述整備地區復歸、輸送開始
 - 二。曉部隊、舟艇少數ニシテ輸送、円滑ヲ欲ス
 - 三。山下中尉副官會同出席、為名護旅團司令部ニ出張
 - 四。第三機関銃中隊陸軍上等兵小林勇藏別紙、通リ賞詞附與ス
- 獨立混成第五聯隊日日命令 伊江島
 陸軍中尉 山下 寛治
- 右名護副官會同出席、為本二十日即日帰隊、予定ヲ以テ球第一八八。部隊ニ出張ヲ命ス

陸軍

皇軍命令第一八八號
不致命令

第五號
報

昭和五年十月十日

皇軍命令第一八八號。時刻ニ出張命令
女子飛行隊會同出陣、爲本二十日明日朝前、予

第一 陸軍中隊
第二 陸軍中隊
第三 陸軍中隊

出陣
第四 陸軍中隊
第五 陸軍中隊

第六 陸軍中隊
第七 陸軍中隊
第八 陸軍中隊

賞

第三機隊中隊

右者性温厚篤實ニシテ責任觀念極メ、
進テ難局ニ當ルニ美風ヲ舞ス
昭和十九年十月十日伊江島ニ敵機未襲メ
此守備隊射撃隊機隊ヲトシテ反
撃シテ大衆驚愕下ニ浴ス

昭和九年十月十日

呈

沖繩縣國頭郡本部町

渡久地

受領

獨立混成第四旅團司令部

一昨日ニ引續キ人員其、他輸送

ニ渡久地警察署長 本部町長 同郵便局長 未隊各

役所、善後策ニ就イテ協議

三ニニニ。警戒或警報發令

獨立混成第四旅團命令

一軍ハ戰斗司令所並ニ通信所、構築ヲ促進ス

ニ旅團ハ軍通信所構築、為特設警備第三五中隊ヲ

津嘉山ニ前進セシメ軍通信隊長、指揮ニ入ラシメントス

三特設警備第三五中隊ハ現ニ作業中、旅團戰斗司令

所構築ヲ旅團工兵隊長ニ継承スルト共ニ速ニ現地

ヲ徹シ津嘉山ニ前進シ軍通信隊長、指揮下ニ入

ルヘシ

指揮轉移ノ時機ハ津嘉山到着時トス

四旅團工兵中隊ハ一部ヲ以テ特設警備第三五中隊ヨリ作

陸軍

業ヲ継承シ旅團戰鬥司令所ノ構築作業ヲ行フシ
五輸送其ノ他ノ細部ニ関シテハ部員ヲシテ指示セシム

旅團長 鈴木少將

下達法 要旨命令后印刷交付

配賦先 隸指揮下一般

報告(通報)先 22A 軍通

別紙

下達命令
獨混五作命第六二號
獨混五作命第六號

獨立混成第五聯隊日日命令 渡久地

陸軍衛生主任 大須賀繁雄

任陸軍衛生軍曹

獨混一五作命第六二號

北地區隊命令

一、情報ニ依ルニ在支米空軍ハ比島方面敵機勦部隊ノ作戦ニ呼
應シ明廿二日台灣及本土ノ爆撃ヲ企圖シ各基地ニ於テ準備中
ナルモノ如シ

二、地區隊ハ特ニ明黎明以後ニ於ケル對空警戒ヲ至嚴ナラシムルト
共ニ敵機必墜ヲ準備セントス

三、揚陸援護ノ對空部隊ハ明黎明以後ニ於ケル對空警戒ヲ至
嚴ナラシムル

四、第一線西大隊ハ明黎明以後ニ於ケル對空戰鬥ヲ準備スヘシ
五、伊江島ヨリノ帰還部隊ハ艇中ニ於ケル對空射撃準備ヲ固
到ナラシムヘシ

六、余ノ諸隊ハ依然前任務ヲ續行スヘシ
七、予ハ本部國民學校ニ在リ

北地區隊長

美田大佐

下違法 電話 要旨 傳 後印刷交付
 配布先 各隊
 報告通報先 南地區隊 伊江島地區隊 平山隊 兵站支部

陸軍

昭和九年十月二十二日 一四。軍司令部軍醫部長藤田軍醫大佐衛生機

晴 閑患者收容施設衛生材料集積狀況視察、為
 渡久地 末隊

下達命令 別紙

獨立混成第五聯隊日日命令 渡久地
 陸軍大尉 西村信義

賜一等級

陸軍中尉

尾崎良衛
 鈴木新
 鈴木忠次
 梅木忠興
 萩生守
 加藤留藏
 籍崎忠

同

同

同

同

同

獨立混成第五聯隊

陸軍中尉

松村 孝一

同

関 太 郎

賜一等級

陸軍軍医中尉

町田 昌 彌

賜一等級

(以上何レモ九月三十日附)

三 衛兵並通奮將校服務別表 別紙

獨泥一五作命第叁號

北地區隊命令

一〇、二三、二八〇、
改、久、地

一 旅團ハ守備計畫中 南北兩地區隊ノ戰鬥地境ヲ一部
變更ス

二 地區隊ハ滿名東端橋梁以ハ滿名川河谷ニ於ケル優勢ナル
敵機甲部隊ノ分断企圖擊推ニ遺憾ナカラシムルト共ニ南
北兩地區ノ交通ヲ確保セントス

南地區隊ハ滿名東端橋梁以東ノ地區ヲ担任ス

三 遠射砲隊ハ獨泥一五作命第四號ノ任務ヲ遂行スル外洩久地
方面ヨリ滿名川河谷ヲ突進スル優勢ナル機甲部隊ヲ擊
推スル如ク伊野波西端矣線路高地脚附近ニ約一ヶ小隊
ノ陣地ヲ準備スヘシ

四 第一大隊ハ滿名附近ニ所要ノ肉攻ヲ準備シ敵戰車ノ突進
ヲ阻止スヘシ

北地區隊長 美田大佐

下達 安旨ヲ傳ハ夜印刷文付

配布先 冬隊

報者通報先 南地區隊、國頭地區隊、伊江島地區隊

4455 平山隊

陸 軍

昭和十九年十月五日 一八三、旅團長旅團副官帶同未隊〇九三〇伊江島

晴 五六發

渡 久地 一師團長兩澤大尉帶同第三大隊方面陣地偵察

部隊全員伊江島ヨリ復歸完了

陸軍

昭和九年十月三日

晴

渡久地

一部隊長伊江島飛行場ヲ射撃スヘキ海軍砲陣地
決定爲沖繩根據地隊參謀佐藤少佐及旅團
内田少佐ヲ伴ヒ屋比久原附近ヲ偵察ス

ニ航空作戦協力ニ関スル感謝電球第一六六部隊參
謀長ヨリ通牒アリタルニツキ移牒ス

下達命令

獨立混成第一五聯隊日日命令

渡久地

獨逸音命第八號

一本嶽明ニ五日戰法研究會出席ノ爲ニ泊ノ予定
ヲ以テ那霸市軍司令部ニ出張ス

以下略

海軍作戦部付 原 感謝電件 移牒

昭和十九年十月二十四日

球第七八三六部隊副官

各隊長 殿

首題件 閣下 球第一六六部隊 參謀長ヨリ 左記
如く通牒アリタルニ付 移牒ス

左 記

今次敵機動部隊 攻撃ニ當リ 軍 航空作戦 協力
ニ對シ 第八飛行師團ヨリ 懇篤ナル 感謝電ニ 接スル 共
ニ 參謀總長 今次長ヨリ 左記 電報ヲ 受領セルニ 付 依
命 通牒ス

左 記

一 參謀總長 電 (十月十五日)

今次敵機動部隊 貴方面 空襲ニ 當リ 貴軍ヲ 喜

戦敵ノ克ノ敵ニ多大ノ打撃ヲ與ヘラレ殊ニ我ガ航空部
 隊貴方面ノ基地ヲ使用シテスル公動ニ際シ積極的ニ
 之ニ協力シ晝夜兼行迅速ニ飛行場ヲ修復シ作戰
 ノ遂行ニ遺憾ナカラシメタルハ感^ニ激^ニ堪^ハズ
 今右益々各隊ノ健斗ヲ祈ル
 (參謀次長電 十月十六日)
 今次敵機新部隊ニ対スル戦果ハ之^ノ後未^クモ^リ更^ニ著^シ
 ヲ増加スベキ見込ナリ
 右戦果ハ我ガ航空隊主力ノ適時ニ継^ぎ基地^ヲシテ台湾
 及沖繩飛行場群ヲ使用可能ナラシメタルニ貢^ク所^ナ
 甚^ク大^ナリ
 茲ニ台湾軍特ニ球集團ノ從未ノ航空基地建設
 及之ガ維持就中徹宵迅速ナル修復ノ功ニ対シ敬
 意ヲ表ス

陸 軍

昭和十九年十月十五日 一〇八〇ヨリ本部ニ於テ戦法研究会實施

晴 二一四三〇警戒或空警報解除

渡 久 地 二一七〇〇部隊長軍ニ於テ實施セラレ戦法研究会出

席ノ為那霸ニ出張

戰法研究會議題

一 將來ニ於ケル敵ノ上陸要領判斷

上陸方面 上陸時機 上陸兵力 上陸戰鬥要領

二 敵上陸前夜ニ於ケル當該方面兵力增強

度ト上陸當日ニ於ケル第一線ノ防禦兵力

三 軍主力ノ攻撃開始迄ニ於ケル第一線兵

團ノ防禦力 特ニ砲兵力ト軍砲兵ノ運用

以敵舟艇ノ海岸線著迄ノ戰鬥要領 就中

リトフ線 海岸線等ニ於ケル我力使用 火器

兵力等

五各兵團ノ機動力(特ニ大砲重火器)

六機動に伴フ軍需品ノ輸送ヲ極限スル爲

ノ対策

七各兵團機動間及機動后ニ於ケル空爆

ニ依ル損害豫想及之ヲ対策

八各兵團機動ノ爲ノ交通網ノ整備及交

通統制

九夜襲ノ要領

消戦ヲ目的トスル場合

決戦ヲ目的トスル場合

一 對戰車戰鬥法

二 我カ戰車ノ用法

三 砲兵ノ橋頭堡破砕射撃ノ時機及時間

其ノ他

十三 砲兵ノ第一線歩兵ニ對スル直擲要領及

該砲兵ハ軍直トスベキヤ師團配属ノ程

度ト事前準備

十五 歩砲兵攻撃時機ト決戦攻撃開始時

機

十五敵空挺部隊ニ対スル作戰準備
 十六敵ノ向修當方面ニ使用スルニキ新兵登
 十七其他新戰法新兵登案
 兵務案ヲモ參加セシム

陸 軍

昭和十九年十月二十日

晴 渡久地

下達命令
 獨立混成第九號

一。軍司令部兵器部長梅津大佐 岩間少尉 旅團松井中尉 帶同未隊 渡久地 澤藥庫 災害狀況及內營新彈藥集積所視察
 二。園田少尉ヲ化學戰教育參加ノ為ニ週間ノ予定ヲ以テ千葉縣習志野學校ニ派遣。ハ。出發
 獨立混成第一五聯隊日日命令 渡久地
 陸軍少尉 石井 英久
 右副官會同出席ノ為明二十七日即日歸隊ノ予定ヲ以テ名護町球第一八。部隊ニ出張ヲ命ズ

昭和十九年十月十七日

一 部隊長軍ニ於ケル戦法研究会ヨリ帰隊

陸

晴

ニ石井少尉名護副官會同ニ出席

渡久地

受領

獨逸旅団命令第六號

獨立混成第四旅団命令

名ニモテニ
出護

一 旅團ハ球作命丁第五三號ニ基キ現下人の戦力ノ消耗ノ主因ナル急性傳染病ノ徹底的防遏ヲ企圖ス

二 各部隊ハ現況ニ即應シ傳染源ヲ其除及傳染経路ノ遮断ニ遺憾ナキ施策ヲ實施スルト共ニ特ニ丙號戰備以上ノ狀況下ニ於ケル防疫的給水ノ根本對策ヲ樹立スヘシ

第三七野戰防疫給水部ハ當兵團ノ防疫給水ニ協力スルヲ

三 各部隊ハ守備陣地内作井希望位置ヲ計畫ラ司令部ニ報告スヘシ

作并實施ニ関シテハ野戰作并第二十中隊ヲ協力セシム

四 實施要領ノ細部ニ関シテハ部員ヲシテ指示セシム

旅團長 鈴木少將

下達法 印刷交付

配賦先 隸指揮下一般

報告先 三二軍

獨立混成第四旅團命令

第一〇三三〇號

陸軍

一 軍八第二十四師團所屬、第二野戰病院（二箇）（之欠）ヲ予ノ指揮下ニ入ラシメラル

二 旅團ハ第二野戰病院到着ニ伴ヒ滿名東南方陣地内ニ患者收療ノ為ノ工事ヲ實施セシメントス

三 第二野戰病院長ハ一部ヲ以テ患者療養所ノ任務ヲ繼承スルト共ニ主力ヲ以テ速カニ滿名東南方地區ニ前進シ患者收療諸施設ヲ行ヒ十一月末迄ニ之ヲ

概成スヘシ

陸軍

四 患者療養所兼務、第二歩兵隊衛生部將校八十員三十日其ノ兼務ヲ解ク

五 細部ニ関シテハ高級部員ヲシテ指示セシム

旅團長 鈴木少將

下達法 印刷交付

配賦先 隸指揮下一般

報告通報先 32A 24D

昭和九年十月十八日

一。駐七地會報實施

陸

晴

渡久地

受領

津奈堂二六號

球第一八〇部隊日日命令

一。三。二五〇

一本職連絡、為一。月二十九日即日帰隊ノ予定ヲ以テ軍司令部ニ出張ス

天野中尉 川端上等兵 隨行スヘシ

二。略

陸軍大佐

美田十賀藏

本職出張不在間旅團長代理ヲ命ズ

獨立混成第一五聯隊日日命令

一。二。八

陸軍少尉

園田靜夫

右化學戰教育參加、為二週間、予定ヲ以テ十京縣

習志野學校ニ派遣ヲ命ズ

下達命令

獨立五日命令第一號

依ツテ十月十六日出発十一月一日同校ニ入學スヘシ
 陸軍軍曹 保坂虎吉
 右軍司令部ニ分遣ヲ命ズ (十月十四日附)
 陸軍少尉 石井英久
 十月二十九日A地區巡察將校服務スヘシ
 十月三十日以陸軍ニ於テ實施スル「」號演習別紙計
 表ニ基キ見學スヘシ

「」號演習見學實施計畫

球第七八三六部隊

目的

軍ノ實施スル「」號演習ヲ見學セシメ將來部隊ノ企圖
 スル必勝ノ戰法檢討ノ基礎ヲ得ルト共ニ各ニ部下訓練
 ノ爲必要ナル資料ヲ獲得セシムルニ在リ

「上」號演習見學實施計畫 球第七八三六部隊

目的
 軍、實施スル「上」號演習ヲ見學セシメテ將末部隊ノ企圖
 スル必勝ノ戰法檢討ノ基礎ヲ得ルト共ニ各部隊下訓練
 ノ急務ナル資料ヲ獲得セシムルニ在リ

考	備	6.	5.	3.	2.	1.	別次
		砲兵隊	9 D.	62 D	24 D.	9 D.	無任 日誌
		11/11 ~ 17/11	13/11 ~ 14/11	4/11 ~ 7/11	3/11 ~ 4/11	31/10 ~ 31/10	無任 日誌
		橋頭堡破砕射撃	夜間機動	陣地深ク突破セラレタ ル場合ノ射撃甲戦斗	橋頭堡ニ對スル攻撃	前地及鐵線據点ノ防禦	見學課目
		御子神大尉 浦中尉	柴野中尉 小野中尉 周澤大尉 橋本大尉 上本大尉 部隊長	村西上尉 鈴木中尉 鈴木中尉 鈴木中尉 鈴木中尉 鈴木中尉	石村上尉 村上中尉 村上中尉 村上中尉 村上中尉 村上中尉	松田中尉 岡澤大尉 野澤大尉 野澤大尉 野澤大尉 野澤大尉	見學者 姓名
		RIA 一名	占一名	I 一名	占一名	I 一名	當番兵 区分

一見學ニテ方リテハ見學課目ノミナラズ其ノ他ノ演練課目ヲモ併セ
 見學シテ戰術ヲ大テラシム
 二見學要領ハ演習實施兵團ヨリノ通報ニ依リ旅團司令部部員ノ指
 示ニヨルモノトス
 三見學者ニシテ事故ヲ生ジテハ場合ハ大隊長ニ於テ代理者ヲ差出スモノトス
 四服裝ハ必要トシ眼鏡、水筒、飯帽ヲ携行スモノトス
 五出發後部隊
 演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十一演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十二演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十三演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十四演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十五演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 十九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十一演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十二演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十三演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十四演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十五演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 二十九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十一演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十二演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十三演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十四演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十五演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 三十九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十一演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十二演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十三演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十四演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十五演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 四十九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十一演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十二演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十三演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十四演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十五演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 五十九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十一演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十二演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十三演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十四演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十五演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 六十九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十一演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十二演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十三演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十四演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十五演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 七十九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十一演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十二演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十三演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十四演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十五演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 八十九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十一演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十二演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十三演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十四演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十五演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十六演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十七演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十八演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 九十九演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス
 一百演習前日ノ17:00迄本部ニ集合シ本部ニ於テ準備スモノトス

昭和九年十月十九日

一二。部隊長岡澤大尉帶同屋比又原 高

晴 地偵察

渡 久 地

一、二號演習見學、為第一次見學者第一大隊長
及岡澤大尉 田中大尉 松井中尉 八島元郡第九
師團ニ出發

受 領

球第一八八。部隊日日命令

右ニ九、二三

沖日命第二七號

一本隊演習見學、為明三十日ヨリ一泊二日ノ予定ヲ
以テ武第一五五部隊ニ出張ス
天野中尉 川端上等兵隨行スベシ

陸軍大佐 美田十賀藏

本隊出張不在間旅團長代理ヲ命ス

下 達 命 令

別 紙

獨混五作命第六四號

以下略

陸 軍

染疫路を遮断し、消毒薬を散布し、水汲み設備を講ずる。其の防疫
の爲に、根木対策を樹立スベシ。

橋在陣地内ニ於ケル作井希望位置ヲ十一井
ニ且ニガニ報告スベシ

作井管線ニ関シテハ野戰作井第三中隊協
力スルベシ

北代中隊長 美田大佐

下巻板 印刷文付

願有欠 各隊

報告先 各隊 衛生部 衛生課 衛生課長 衛生課長

長紙

一 傳染病、徹底的防遏ノ方針

平戰兩時ヲ通ジ消化器係傳染病、發生ヲ絶無ナラシムルト共

ニ之ガ傳染ヲ防止ス

二 實施要領

一 各隊ハ速ニ各擔任區域内ニ作井又ハ貯水ノ施設ヲ完備シ高

度戰備下ニ於テモ雜用飲用ニ湧水雨水トモニ濾水器ニ依リ

濾過セルモノヲ使用シ得ル設備ヲ完了ス

二 各隊附軍医ハ各水源ニ左記標識ヲ實施ス

左記

「飲用適」「濾過飲用適」「消毒飲用適」「糞用適」「使用不適」

一 一般民家ト協同使用ヲ努メテ禁止ス

二 民家ニ立入り及濾過セザル生水、生物ノ飲食ヲ禁ズ

三 蠅、蚊、蚤、鼠等ノ撲滅

① 廁、下水ノ清掃
 ② 軍医ハ隨時關係住民ノ衛生状態給水地炊事兵舎内等
 ③ ラ巡視シ病源ノ搬入ヲ防止スルト共ニ要スレバ予防接種ヲ適時
 ④ 安買施ス
 ⑤ 檢水ニ関シテハ第三七野戰防疫給水部ト密ニ連絡スベシ
 ⑥ 各隊八個人並ニ公衆衛生ノ共ニ月ヲ徹底セシメ患者ノ早期
 ⑦ 受診ヲ勵行ス
 ⑧ 消毒毒材料ハ計畫ヲ附シ請求スルモノトス

陸軍

昭和十九年十月三十日 一臨時軍馬二四頭旅團ヨリ配當セラレ〇七三〇ヨリ各隊

墨 二配當

渡 久地

受 領

獨立混成第四旅團命令 一〇、ニ、二〇、
 獨混四旅作命第六七號第三項末尾ニ左記事項ヲ

追加ス

左記

患者療養所トノ責任轉換時期ハ十一月一日零
 時トス

旅團長 鈴木少將

下達法 印刷交付

配賦先 隸指揮下一概

報告先 三二軍

沖日命第一八八號 球第一八八〇部隊日日命令 一〇、三〇、一五〇、
 名 護

一本旅演習見學ノ爲十月三十日即日帰隊ノ予定ヲ以テ糸満方面ニ出張ス

天野中尉長嶺上等兵川端上等兵隨行スベシ

陸軍大佐 美田千賀藏

本旅出張不在間代理ヲ命ズ

獨立混成第一五部隊日命令

渡久地

下達命令

獨立混合第一五部隊

臨時軍馬二四頭旅團ヨリ配當セラル

依テ十月三十日各隊ニ配當ス

各隊ハ所要ノ兵力ヲ差出シ配當馬ノ交付ヲ受フ

左記

聯隊本部 第一大隊 第二大隊 第三大隊

月城 月山 谷水 山月

平安 白帆 林山 青市

陸軍

大南 清風 志 錦野 戦

海山 大

聯隊砲中隊 速射砲中隊 工兵中隊

功雲 金山 赤穂

豊岡 桃山 白木

勇政 大正 英雄 以下略

昭和十九年十月三日

晴

渡久地

下達命令

獨立混成第五聯隊

一、第一大隊長他三名 第九師團ニ於ケルヨリ 號演習
見學ニリ 歸隊

獨立混成第五聯隊 日日命令 渡久地

一、兵糧勤章別紙ノ通附與ス(十月三十日附)

二、兵進級ニ関シ別紙ノ通心得マシ(十月三十一日附)

以下略



陸

軍

第四中隊

陸軍一等兵

第五中隊

陸軍一等兵

第五中隊

陸軍一等兵

第六中隊

陸軍一等兵

第六中隊

陸軍一等兵

第七中隊

陸軍一等兵

第三機關銃中隊

陸軍上等兵

第三大隊本部

陸軍兵長

第七中隊

陸軍兵長

白高末前小瀧萩山山今田木森岡北三水砥酒法森谷市小根山森長平
 井野出田塚下原下邊村村戶口部勝井神花堂本義幸村谷塚木川尚三
 保音教太政次茂理志勇富廣直太氏虎惣直恒左幸清正天次郎
 若雄雄郎吉千男清吉三知吉明郎郎次吉吉明久助茂勝治雄次

奈玉芳菅加菊森澤野野清前飛山荒木廣寺高水原木青百若大酒柳
 浪太實原德安村口水田鳥田木田崎木井山木敷林原井柳澤四郎三郎
 野松次吾五郎明郎一平三一治岩一志雄彦隆秋一雄夫可
 雄郎智平次郎郎明郎一平三一治岩一志雄彦隆秋一雄夫可

竹岩柳久菅木宮平金管倉橋宮北原田宮松保中黒堤城大小竹目菊橋
 下和澤保沼下下林子沼田伊能正壽透清多發壯幸久保原春茂良角
 章政三郎藤義恒秋新正壽透清多發壯幸久保原春茂良角
 白章郎史明史隆久久史隆久久史隆久久史隆久久史隆久久史隆久久史隆久久

陸軍一等兵
 陸軍上等兵
 佐山菅千久奈淺中長鈴如丸小高松渡佐新佐千阿招杉堰千土川
 々木原菜昌長吉一治岩一志雄彦隆秋一雄夫可
 夫治高利一吉一治岩一志雄彦隆秋一雄夫可

十月 中行事豫定表

球第六八三六部隊

四日	三日	一日	日次
水	火	月	曜
中	水	藤	廻番
幼論奉請式		精神訓話(隆文)	凡
同上			I
精神訓話	精神訓話	精神訓話	II
精神訓話	精神訓話	精神訓話	III
幼論奉請式	地	陣	IA
幼論奉請式	地	陣	TA
	地	陣	P

